



教職員の皆様へ

夢を育み 未来を創る 上尾の教育

©上尾市

上尾市について

みんなでつくる みんなが輝くまち あげお

上尾市は、東京から35km、電車で約1時間の距離にあり、埼玉県南東部に位置しています。面積は、45.51平方キロメートルあり、令和5年に市制施行65周年を迎え、人口は約23万人です。上尾市では、「みんなでつくる みんなが輝くまち あげお」を将来都市像と定め、新たな時代に向けたまちづくりに取り組んでいます。また、市内には、22の小学校と11の中学校があり、「夢を育み 未来を創る 上尾の教育」を基本理念に、児童生徒の夢を育み、様々な体験を通して笑顔と感動を送ることができるような教育に取り組んでいます。



特色ある教育



©上尾市

グローバル化に対応する教育

小中一貫教育の推進

グローバル化に対応する教育を推進するために、英語教育の推進（「日常的な環境づくり」「教育課程特例校英語活動」「小中9年間を見通した英語教育」「ALTの全校配置」）及び国際理解教育の推進（「中学生海外派遣事業（オーストラリア）」「海外の学校とのオンライン交流」「中学校英語弁論大会」）を図っています。

小中一貫教育の推進を図るため、全小・中学校で推進する取組として、「小中9年間を見通した教育目標・目指すこどもの姿」「学びがつながるカリキュラム編成」「地域や保護者との連携協力」を実施しています。また、各中学校区の特徴を生かした取組として、「学習や生活面での連携」「相互乗り入れ授業」「児童生徒の合同活動」「教職員の合同研修」を実施しています。

ICT活用



©上尾市

あげお学びのイノベーション 2nd GIGA「探求する」

市内各小・中学校に、学校ICT支援員を配置し、ICT端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの推進を図っています。また、児童生徒が自律的にデジタル社会と関わっていけるための指導を行うとともに、ICTを安全に活用できることを前提とした利用環境を整備するなどのデジタル・シティズンシップ教育を推進しています。

① 児童生徒の活用

Chromebookを使用し、学習eポータル、授業支援クラウド、AI型ドリル、生成AIなどを活用しながら、学習を深めています。

② 教職員の活用

授業で活用するICT以外にも、校務支援システム（C4th）などを整備しており、教職員の服務等が適切に管理できるようになっています。

働き方改革



©上尾市

働き方改革を推進し、学校教育の質の維持向上を図る

市内各小・中学校では、4つの視点（①教職員の負担軽減のための条件整備 ②教職員の専門性を踏まえた総業務量の削減 ③教職員の健康を意識した働き方の推進 ④保護者や地域の理解と連携の促進）から働き方改革を推進しています。具体的には、「行事のスリム化」「各種取組の簡略化」「学校支援員アピースマイルサポーター（ASS）及び教育業務支援員スクール・サポート・スタッフ（SSS）の配置」などを通して、教職員の負担軽減を図っております。また、「勤務状況の把握」「休暇等を取得しやすい環境づくり」を通して、健康を意識した働き方も推進しており、これらの取組を通して、時間外在校等時間を「月45時間以内、年360時間以内の教員数を令和6年度末までに100%」にすべく実施しています。

地域連携・生徒指導



©上尾市

地域と一体となった教育・いじめ防止・不登校減少

地域一体となった教育を推進するために、家庭・地域・関係機関等との連携を図り、「コミュニティ・スクールの発展」「学校応援団の活動の充実」「児童生徒の安全確保」を推進しています。また、計画的な部活動の地域移行を進めています。具体的な手立てとして、「アッピー部活動コーチ等の派遣」「休日の地域クラブ活動の運営体制の構築」「英語クラブ『イングリッシュサロン』の開設」などを行っています。

いじめの防止・不登校の減少のため、「定期的なアンケートや面談によるいじめの積極的な認知」「児童生徒主体で行われる上尾市いじめ防止子供サミット」「校内支援ルームの拡充」「適応指導教室の拡充」「おおよサテライトの開設」などの取組を実施しております。また、児童生徒・家庭・学校とが連携し、未然防止となる働きかけも積極的に実施しています。

